## 令和2年度 社会福祉法人白梅学園 事業報告 【全般】

#### 1. 入退所児童の状況(年間)

施	設 名	年度初	入所数	退所数	年度末	一時保護	ショートスティ
蕾 舎	乳 児 院	9人	2人	4人	7人	7 人延259日	1 人延41日
晴喜館児	<b>童養護施設</b>	43人	4人	7人	40人	5 人延72日	4 人延35日

## 2. 令和2年度の出来事

- 4月 1日 新任職員理事長面接(後)
  - 2日 児童家庭支援センター業務打合せ(前:小浜)
  - 3日 福養協監事監査(偕生慈童苑:園長)
  - 5日 CPS-SV研修(2名)
  - 7日 嶺南養護学校高等部入学式(2名)
  - 8日 敦賀西小学校(2名)松陵中学校(3名)入学式
  - 9日 敦賀北幼稚園入園式(2名) 職員会議(前)
  - 16日 児童健康診断(夕)
  - 18日 天理教祖(おやさま)誕生日
  - 23日 乳児カンファレンス(前)
  - 24日 4月分給料支給
  - 27日 養護全体会議
  - 29日 【昭和の日】
- 5月 3日 【憲法記念日】
  - 4日 【みどりの日】
  - 4 L M C 9 W L
  - 5日 【こどもの日】
  - 6日 【振替休日】
  - 13日 児童健康診断(夕)
  - 20日 乳児カンファレンス(前)
  - 25日 5月分給料支給
  - 28日 養護全体会議(前) 学園監事監査(前)
- 6月 4日 児童健康診断(夕)
  - 11日 福養協心理職および個別対応職員研修会(一陽)5名参加
  - 15日 県庁ヒアリング(前)正副園長等対応
  - 16日 中養協議員会(名古屋市)園長出席
  - 18日 敦賀児相との懇談会(後) \*夏季賞与支給
  - 19日 理事長奥様講話(前)
  - 20日 乳児カンファレンス(前)
  - 22日 養護全体会議(前)
  - 25日 6月分給料支給
- 7月 2日 職員会議および消火避難訓練(前) 児童健康診断(夕)
  - 3日 小浜市要保護児童対策地域協議会代表者会議(小浜市:園長出席)
  - 5日 若狭湾青少年の家宿泊学習(小学生対象~6日)引率6名
  - 7日 敦賀市・敦賀児相・白梅3者会議(後:白梅)
  - 8日 里親サロン (総福児相) 里親相談員 2名参加
  - 9日 福養協拡大施設長会議(後:ほほ咲みの郷)正副園長事務長参加
  - 11日 ブロック乳児拡大正副会長会議(白梅)園長出席
  - 17日 敦賀市議会女性議員5名との懇談(副園長対応)
  - 20日 乳児カンファレンス(前)
  - 21日 西小学校との連絡会(夕)
  - 22日 養護全体会議(前)
    - 若狭町要対協代表者会議および実務者会議(夕:上中庁舎)園長相談員出席

<七タ>

- 23日 【海の日】
- 24日 【スポーツの日】
- 25日 7月分給料支給
- 26日 新任職員歓迎会および慰労会①
- 29日 全乳協監事監査®(前:園長)

福井県社会福祉審議会児童福祉部会(後:県庁)園長出席 30日 新任職員歓迎会および慰労会② 31日 美浜町要対協代表者会議および実務者会(後:美浜町)副園長養護FSW出席 福井大学友田研究Gとの協議(夕)正副園長対応 8月 1日 幼小中夏休み(~16日) 6日 児童健康診断(夕) 10目 【山の目】 11日 原子力防災訓練(前)および夏祭り(昼) 17日 学校再開 20日 乳児カンファレンス(前) 21日 県庁フォスタリング機関説明会(前) 25日 8月分給料支給 全児家セン役員会®(後)園長出席 9月 3日 児童健康診断(夕) 4日 里親登録前研修(終日) 福養協拡大施設長会議(後:ほほ咲みの郷)正副園長事務長出席 9日 里親サロン (総福児相) 里親相談員2名出席 12日 専門里親研修(終日) 14日 県社協施設業務巡回相談会(前) 17日 乳児カンファレンス(前) 18日 里親登録更新研修(終日) 21日 【敬老の日】 22日 【秋分の日】 25日 養護全体会議(前) 児相・市役所3者会議(後) 9月分給料支給 26日 里親登録前研修(終日) 29日 発達障害研修(前:パラレル協力) 10月 1日 児童健康診断(夕) 2日 職員会議(前) 養護第三者評価受審(後) 4日 芋ほり招待(前:三方地区・榎本評議員協力) 5日 若狭町民生児童委員施設見学(前) 敦賀市児童家庭課との懇談(後) 6日 養護第三者評価受審(終日) 9日 里親制度説明会(夜:大飯町)里親相談員2名出席 10日 福里サークル(吉江学園) 12日 小浜市主任児童委員施設見学(前) 14日 里親サロン (総福児相) 里親相談員 2名参加 16日 里親制度説明会(夜:若狭町)里専2名出席 17日 西小運動会(午前のみ) 里親専門研修(後) 18日 嶺南里親サロン (後:小浜児家セン) 20日 乳児カンファレンス(前) 23日 里親制度説明会(夜:美浜町)里専2名出席 10月給料支給 25日 福里サークル (一陽) 27日 養護全体会議(前) 28日 中養協議員会(名古屋市)園長出席 29日 コロナ感染症対策図上三者訓練(後:県庁・保健所・白梅) 30日 防災マネージャー講習会(県社協~31日)3名参加 11月 3日 【文化の日】 地引網体験(BBQ)招待 4日 福養協拡大施設長会議(後:ほほ咲みの郷)正副園長事務長出席 5日 福里サークル (済生会乳児院) 6日 里親制度説明会(夜:敦賀市)里専2名出席 8日 福井大学友田研究Gによる検査(8才以下児童) 9日 中養協施設長学習会(名古屋市)園長出席

- 10日 西小就学前健康診査(対象児3名)
- 11日 里親サロン (総福児相) 里専2名参加
- 12日 丸岡町更生保護女性会施設見学(前)
- 13日 里親制度説明会(夜:小浜市)里専2名出席
- \*おはぎづくり(榎本評議員他2名協力)
- 15日 七五三祝(4名) 16日 来年度事業計画打合せ①(前)
- 19日 美浜町民生児童委員啓発活動(夜)里専2名出席
- 20日 乳児カンファレンス(前) 里親制度説明会(夜:高浜町)里専2名出席

- 21日 里親専門研修(終日)
- 22日 福里サークル (白梅) 友田教授DV・虐待®研修(後)
- 23日 【勤労感謝の日】 福井県里親会主催講演会(後:県社協)里専2名参加
- 24日 福井県社会福祉審議会児童福祉部会(後:県社協)園長出席
- 25日 11月分給料支給
- 26日 ブロック乳児施設長・総務主任者合同研修会(敦賀あいあいプラザ)園長他出席
- 28日 JASPCAN® (石川県)
- 29日 同上 および厚労省主催児童虐待全国フォーラム® (高知県)
- 12月 2日 発達障害研修(前:パラレル協力)
  - 3日 敦賀市更生保護女性会慰問(前) 児童健康診断(夕)
  - 5日 福里サークル (吉江学園) 里専2名参加
  - 6日 福大友田研究Gによる検査

高校生ディナー招待(3名:越前市王様の食卓)引率1名

- 7日 嶺南4市町および児相との懇談会(夕)園長対応
- 9日 里親サロン (総福児相) 里専2名出席
- 10日 敦賀市社協慰問(後)

\*年末賞与支給

- 11日 美浜町更生保護女性会慰問(前)
- 13日 福里サークル (一陽) 里専2名参加
- 15日 来年度事業計画打合せ②(前)
- 14日 西小学校オープンスクール
- 16日 敦賀ロータリークラブとの懇談(後)園長対応
- 21日 養護全体会議(前) フォスタリング機関開設打合せ(夜:一陽)園長出席
- 22日 福井県社協評議員会(後)園長出席
- 24日 乳児カンファレンス(前)
- 25日 天理白梅寮地方派遣保育士面接会(後:天理養徳院)副園長出席 学童年末終業(~27日) 12月分給料支給
- 26日 冬休み (~1/5)
- 30日 年末帰省開始(~1/5)
- 31日 大晦日
- 1月 1日 【元日】
  - 4日 職員会議(前)
  - 6日 各校授業再開 全児家セン役員会議®(後)
  - 8日 実習生受入れ業務打合せ(前)
  - 10日 FLECフォーラム研修® (~11日) 3名受講
  - 11日 【成人の日】
  - 12日 来年度事業計画打合せ③(前)
  - 14日 アレルギー予防研修®(後)栄養士2名参加 児童健康診断(夕)
  - 16日 乳児医療看護セミナー®①(後)看護師2名受講
  - 21日 乳児カンファレンス(前)
  - 22日 福養協拡大施設長会議(前:ほほ咲みの郷)正副園長事務長出席
  - 24日 養護全体会議(前) 1月分給料支給

- 25日 天理教社会福祉施設連盟施設長研修会(天理市)副園長出席
- 29日 来年度事業計画打合せ④
- 2月 2日 施設長義務化研修®① (園長受講) \*節分豆まき (夕)
  - 4日 児童健康診断(夕)
  - 5日 施設長義務化研修®② (園長受講)
  - 9日 来年度事業計画打合せ⑤
  - 10日 里親サロン (総福児相) 里専2名出席 乳児医療看護セミナーR②看護師2名受講
  - 11日 【建国記念の日】
  - 13日 福井県里親会主催「星の子のつどい」(越前市) 4名参加引率2名
  - 14日 里親基礎研修(終日)
  - 16日 県社協共同募金助成金交付式(後:県社協)副園長出席
  - 18日 県社協退職共済会運営委員会®園長出席
  - 20日 福里サークル (吉江学園) 里専2名参加
  - 21日 嶺南里親サロン (小浜) 園長と里専1名参加
  - 22日 乳児カンファレンス(前) 三者会議(後:市役所)正副園長出席
  - 23日 【天皇誕生日】
  - 25日 養護全体会議(前) FSW研修® 2名受講 2月分給料支給

- 26日 市社協評議員会(前)園長出席
- 27日 里親乳児院実習(終日)
- 28日 福里サークル (一陽) 里専2名参加 敦賀気比高校卒業式 (1名)
- 3月 2日 敦賀高校(1名)敦賀工業高校(1名)卒業式
  - 3日 県庁ヒアリング(前)正副園長事務長対応 ひなまつり(後)
  - 4日 福井県社会福祉審議会児童福祉部会(後:県社協)園長出席 児童健診(夕)
  - 6日 福里サークル (ほほ咲みの郷) 里船員2名参加
  - 9日 理事役員会(前) 里親研修(小浜市)里専2名参加
  - 10日 里親サロン (総福児相) 里専2名出席

ブロック乳児拡大正副会長会議(後:白梅) 園長出席

- 11日 養護全体会議(前) 全児家セン役員会®(後)園長出席
- 12日 松陵中学校卒業式(1名) 小浜市要対協代表者会議(後)園長出席
- 13日 里親児童養護施設実習(終日)
- 15日 西小学校卒業式(3名)
- 16日 北幼稚園卒園式(3名) 市社協共同募金運営委員会(前)園長出席 県社協評議員会(後)園長出席
- 17日 福養協拡大施設長会議(後:ほほ咲みの郷)正副園長出席
- 19日 乳児カンファレンス(前)
- 20日【春分の日】
- 22日 養護各種お祝い会(夕)
- 24日 学校修了式 中養協議員会(名古屋市)園長出席
- 25日 学童春休み 3月分給料支給
- 26日 乳児各種お祝い会(夕)
- 29日 新任職員研修(~30日)6名受講 全児家セン役員会®(夕)園長出席
- 30日 評議員会(前) 福井県災害福祉支援NW協議会®(後)園長出席
- 31日 市社協評議員会(前:市社協)園長出席 天理教少年会越乃國分団総会®

## 3. 各学校への児童の入学(入園)・卒業関係

(1) 令和2年度に入園入学した実数等

敦賀北幼稚園(3名) 敦賀西小学校(2名) 松陵中学校(4名)

敦賀高校定時制(2名) 嶺南東養護学校高等部(2名)

美方高校(1名) 敦賀工業高校(1名)

(2) 令和2年度に卒園卒業した子どもの実数等(\*就職先)

1 7 和 2 年度に 学園 学来 した す ともの 夫 数 寺 ( 本 肌 順 プ

敦賀北幼稚園 (3名) ➡ 敦賀西小学校

敦賀西小学校(3名) ➡ 松陵中学校(2名)気比中学校(1名)

松陵中学校(1名) ➡ 敦賀気比高校(1名)

敦賀気比高校(1名) ➡ 泉ケミカル(小浜市)家庭引取

敦賀高校定時制(1名) ➡ 美容エステベルチェ(敦賀市) 自活

敦賀工業高校(1名) ➡ 溪山荘介護(敦賀市)家庭引取

#### 4. 令和2年度実習生受入実績

実習受入校名	人数	実習受入校名	人数
京都華頂短期大学	10人	平安女学院大学短期大学部	8人
豊岡短期大学	13人	神戸松蔭女子大学短期大学部	1人
滋賀短期大学	8人	びわこ学院大学短期大学部	4人
奈良保育学院	4人	京都文教短期大学	6人
仁愛大学	5人	滋賀文教短期大学	2人
仁愛女子短期大学	8人		
		合計 11校 (	6 9 人

# 5. 令和2年度の一般寄附補助金等

○ご寄附をいただいた個人・団体名

No.	ご 芳 名	寄附等の内容	金 額(円)
1	福井銀行社会貢献部	高校進学助成(3人分:個人口座)	90,000
2	赤い羽根共同募金	家電購入助成金(施設会計)	54,000
3	幸池商店	寄附 (施設会計)	200,000
4	県社協自立支援助成金	運転免許取得助成(1人分:個人口座)	180,000
5	匿名(3件)	寄附 (施設会計)	110,000
6	敦賀・美浜更生保護女性会	寄附 (施設会計)	20,000
7	全国乳児福祉協議会	七五三お祝い助成(1人分:施設会計)	30,000
計			684,000

# 6. 令和2年度の物品寄附等(敬称略)

月	ご 芳 名	住所	物品名
71	ダスカジャパンQ	茨城県	チョコレート2箱(大)
	渡辺広一	敦賀市	ホットプレート1台
	天理教越乃國大教会	敦賀市	文房具多数
	高橋健二	小浜市	キャベツ8玉
	坊 善信	若狭町	ベビーカー、三輪車
4	匿名		中古衣類 2 袋
	谷本由美子	敦賀市	布製マスク32枚
	(株)ほくつう	敦賀市	不織布マスク100枚
	山田のぶ枝	福井市	中古衣 1 箱
	中央ライフサポートC	群馬県	スパゲティ乾麺2箱
	(株)エルジャパン	敦賀市	飲料2箱
	高橋健二	小浜市	ねぎ・玉ねぎ・キャベツ各1箱
	宮﨑知世	鯖江市	幼児衣類1袋
	アポロレントール	敦賀市	不織布マスク1箱等
	石井孝典	東京都	アンパンマンふりかけ
	高木鈴子	敦賀市	アイスクリーム・玩具
	(株)ほくつう	敦賀市	不織布マスク4箱
	匿名		長靴6足・フットカバー4ケ
	匿名		小学生制服、文房具等
	敦賀市役所	敦賀市	不織布マスク(大小)25箱
5	田村美代子	若狭町	子ども用自転車、長靴等
	匿名 (4) 入 入 入 大 六 以 (4)	14 1B	玄米60kg
	(株たかくら新産業)	埼玉県	除菌スプレー5本
	日本コカ・コーラ㈱	滋賀県	アルコール消毒液8本
	樹設計	敦賀市	ビジネスバッグ 5 点
	江口一穂	敦賀市	玩具2箱
	チュチュアンナ1%C	大阪府	靴下20足
	小川満江	福井市	中古衣料1箱
	古川博昭 匿名(市社協)	敦賀市	米20kg 不織布マスク8箱
	(株プレーベル館	東京都	小椒和マヘク8和    絵本147冊
	匿名	水水砂	中古衣類、靴多数
	江南友利恵	敦賀市	中古衣類1袋
	田村美代子	<u>教員市</u> 若狭町	靴4足
	坊 善信	<u></u> 若狭町	乳児衣類1袋
6	<u> </u>	413/2円	米30kg・調味料4本
	アスクル(株)	東京都	ビオレU1箱
	ポッカ・サッポロフード㈱	愛知県	オレンジジュース1箱
	阿部照伸	勝山市	アマビエお守15点
	1. 4 HbyW/1.1	/// H-114	, = 40.1 ± 0.11

	l m/r	let store I :	1
	吉田 勝	敦賀市	布マスク(4枚)
	学校法人摺河学園	兵庫県	絵本1冊
6	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子3箱
	匿名		中古衣類1袋
	匿名(伊達直人)		クオカード500枚
	匿名		Tシャツ1枚
	匿名		靴・衣類1箱
	株KATAYAMA PLANNING	東京都	テレビ1台
	株明治物流部	愛知県	明治ほほえみ72缶
	<b>匿名</b>	麦州乐	色鉛筆1箱
7	旦日 APバンク	古台初	
'		東京都	マスク8枚
	高橋健二	小浜市	きゅうり・茄子1箱
	門司一徹	東京都	カード1組
	四国団扇(株)	東京都	不織布マスク1000枚等
	匿名		自転車1台、靴2足
	高木鈴子	敦賀市	アイスクリーム等
	子ども食堂	敦賀市	果物多数
	榎本康博、宇野ひろ子等	若狭町	米30kg、ジャガイモ他
	上野正幸	越前市	手作りマスク150枚
	徳本道輝	敦賀市	お菓子多数
	福井精米(株)	福井市	40 k g
8	匿名		中古衣類1袋
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子7箱
	山本律彦	敦賀市	お菓子7箱
	明治安田生命㈱	東京都	タオル・文具・日用品多数
	人間力大学	千葉県	書籍1冊
	匿名		玄米 9 0 k g
	本勝寺	敦賀市	果物 1 袋、毛布 6 枚
	佐川急便CSR推進部	東京都	カップラーメン8箱
	田村美代子	若狭町	玩具多数
	明治乳業(全乳協)	東京都	明治ほほえみ8缶
	市役所危機管理課	敦賀市	非常食(50食)
	斎藤正七郎	群馬県	梨(二十世紀) 1 箱
9	近ちゃんふぁ~む	坂井市	梨(豊水)1箱
	西川相子	敦賀市	布団等
	高木鈴子	敦賀市	アイス6箱
	チュチュアンナ1%C	大阪府	靴下33足
	田村美代子	若狭町	チャイルドシート1台等
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子5箱
	山崎啓藏	敦賀市	米90kg
	匿名		紙おむつ、哺乳ビン等
	中央ライフサポートC	群馬県	パスタ3箱、ピーナツ缶詰他
	若狭東更生保護女性会	若狭町	日用雑貨多数
	P&Gジャパン㈱	京都府	紙おむつ5箱
	戸塚厚子	静岡県	電子ピアノ、絵本多数
	観音川営農組合	若狭町	米20kg
	森永乳業㈱(全乳協)	大阪府	離乳食(肉・魚)1箱
	こどもスポーツ障害保険等	福井市	大型ビジョン1台(片山右京)
1 0	(有)スポーツコバヤシ	敦賀市	スポーツ用品数点
	松本仁子	敦賀市	ぬいぐるみ、中古衣料
	宮崎知世	鯖江市	中古衣料 1 箱
	匿名	und 4 1-m - 1 -	玩具1袋
	匿名		靴9足
	橋谷睦子	敦賀市	中古衣類2箱
	中川香織	敦賀市	かぴからぶカード16セット
	中川省献   <b> </b>	<b>秋</b> 貝川	
		おかけ	不織布マスク1袋
, ,	高木鈴子	敦賀市	アイス8箱
1 1	嶺南東養護学校職員有志	若狭町 福井市	<u>中古衣類 5 袋</u> 冬物中古衣類 1 箱
	小川満江		

	市役所危機管理課	敦賀市	非常食(粥) 3 箱
	匿名		中古衣類 2 袋
	二宮加奈	敦賀市	ぬいぐるみ
1 1	榎本康博ほか	若狭町	きなこ餅、あんこ餅作り
1 1	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子5箱
	明治乳業(全乳協)	東京都	ほほえみらくらくミルク3ケース
	全国シャンメリー協同組合	東京都	クリスマス用シャンメリー24本
	高橋健二	敦賀市	ホウレン草1箱
	<u> </u>	<b>松</b> 貝巾	中古衣料4袋
	- <u>海</u> 高橋健二	小浜市	ミスタードーナツ券(5千円分)
	<u> </u>	\1.1⊠\\11	お菓子3袋
	池田雅直	<b>庭</b> : 大士	高卒児童ディナー招待(3人)
	カナカン㈱乾親会	鯖江市 一	カップラーメン13箱
		石川県	
	美浜町更生保護女性会	美浜町	米10kg、さつまいも1袋
	桑森真智子	大野市	子ども用マスク31枚、絵本等
	チュチュアンナ1%C	大阪府	靴下34足
	坊 善信	若狭町	ぬいぐるみ数点
	日本鏡餅組合	新潟県	鏡餅1セット
	本勝寺	敦賀市	果物、お菓子多数
	宮本香織・志ず子	敦賀市	米2袋
	北電労組青年部敦賀分会	敦賀市	卒園児へ電化製品
	ALT	敦賀市	クリスマスプレゼント
1 2	東京海上日動敦賀支店	敦賀市	アイスケーキ 7 箱 神酒 4 本、米 6 0 k g
	気比神宮社務所	敦賀市	
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子4箱
	ファミリーマート中央店	敦賀市	ぬいぐるみ、小物多数
	門司一徹	東京都	クリスマスカード2通
	横浜幸銀信用組合	神奈川県	絵本5冊
	伊原由美子	敦賀市	ゲーム多数
	橋本一男	敦賀市	野菜多数
	池田みつ枝	静岡県	みかん1箱
	住友生命福井支社	福井市	クリスマスケーキ9箱
	匿名		クリスマスプレゼント、お菓子
	匿名		お菓子1袋
	三谷弘美	敦賀市	玩具1袋
	徳本道輝	敦賀市	お菓子多数その他
	伊原由美子	敦賀市	お餅多数
	徳本道輝	敦賀市	和菓子8セット
	竹内廣宣	あわら市	お菓子6箱
1	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子4箱
	坊 善信	若狭町	ぬいぐるみ、中古衣類
	<u></u> 榎本康博	若狭町	大根 5 袋
	江南友利恵	敦賀市	学生服等
	高橋健二	小浜市	キャベツ1箱
	坊 善信	若狭町	ズボン2本
	<u></u> 気比神宮社務所	敦賀市	神酒4本、飲料5箱
	高木鈴子	製質 T 製質 T 製質 市	仲間4本、臥村5相
	ありさんプロ(株)	福岡県	DVD、絵本
2	子ども食堂 フィットネスCカーブス	敦賀市	とろろ昆布1袋
		福井市他	日用雑貨品多数
	ゆうあい倶楽部	敦賀市	靴乾燥機8台
	匿名   窓子ンマラスがガラ	おかせ	米30kg お菓フ4笠
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子4箱
	竹田和弘	福井市	不織布マスク4千枚
	東洋紡㈱敦賀営業所	敦賀市	中古自転車4台
	<b>匿名</b>		タオル・紙濡れティッシュ多数
	㈱ワイティーエス	東京都	洗えるマスク720枚
_	111 1-ta 31 1.		
3	推崎美穂 浜野幸子	美浜町 敦賀市	中古玩具・衣類 電化製品3点

	山耕(株)	越前市	ランドセル2個
	サムライアライアンス	越前市	図書カード
	(株)江前	福井市	文房具多数
	Coto、石丸智恵	敦賀市	文房具多数
3	(株) 兵左衛門	小浜市	若狭塗り箸50本
	首藤さとみ	敦賀市	中古衣類、玩具等
	川元サイクル	敦賀市	中古自転車3台
	小泉朋子	敦賀市	中古衣類多数
	ダスカジャパンQ	茨木県	チョコレート多数

# 7. 令和2年度に来園された議員(敬称略)

①衆議院議員				
斉木	武志			
②福井県議会	議員			
西本	正俊			
③敦賀市議会	議員			
山本	武志	今大地晴美	林 恵子	三國 真弓
中道	恭子	山本貴美子		
④小浜市議会	議員			
能登	恵子			

#### 令和2年度事業報告

#### 1. 運営方針

社会福祉法人白梅学園は、天理教初代真柱様がお詠み下さった「人の子も我子もおなじこゝろもて おふしたてゝよ この道の人」を運営の基本理念としている。

昭和27年7月に乳児院の事業を開始し、昭和36年7月には養護施設を併設した。その後養護施設の増設に伴い、平成10年に子育て短期支援事業を開始する。また、嶺南西部における児童相談所の補完的役割として平成17年4月に児童家庭支援センター白梅を小浜市に開設した。さらに平成23年度の「社会的養護の課題と将来像」に基づく福井県家庭的養護推進計画に沿って、平成29年12月に児童養護施設晴喜館を新築、平成30年7月に乳児院蕾舎および管理棟あらきを新築した。そして、平成28年4月に地域小規模児童養護施設「たんぽぽ」、翌年4月に2箇所目の地域小規模児童養護施設「日向」を開設した。これらの関連事業の特性を活かしつつ施設間の連携を行い、さらには職員の専門知識技術の習得や信条教育を深めることにより、基本理念の実践を目指している。

#### 2. 事業内容【定款より】

(目的)

- 第1条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立生活を地域社会において営むことができるようにするよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。
  - (1) 第1種社会福祉事業
    - イ. 乳児院白梅学園の設置経営
    - ロ. 児童養護施設白梅学園の設置経営
  - (2) 第2種社会福祉事業
    - イ. 子育て短期支援事業の経営
    - ロ. 児童家庭支援センターの経営

#### 3. 理事会·評議員会開催状況

日時	会 議	内容	
6/10	理事会	令和元年度各事業報告 (案)	【承認】
6/10	(書面審議)	令和元年度各収支決算報告 (案)	【承認】
6 / 9 5	評議員会	令和元年度各事業報告(案)	【承認】
6/25	(書面審議)	令和元年度各収支決算報告 (案)	【承認】
		定款変更(案)	【承認】
		給与・退職金規則変更(案)	【承認】
3/9	理事会	令和元年度各会計収支補正予算 (案)	【承認】
		令和3年度各事業計画(案)	【承認】
		令和3年度各会計収支予算(案)	【承認】

3/30	評議員会	定款変更(案) 給与・退職金規則変更(案) 令和2年度各会計収支補正予算(案)	【承認】 【承認】 【承認】
	F1 F422 ( )	令和3年度各事業計画(案)	【承認】
		令和3年度各会計収支予算(案)	【承認】

## 4. 役員・評議員名簿

役 名	氏 名	
理事長	宇 野 美 和	理 事 刀 根 荘兵衛
理事	堤 利 市	理事塚本勝典
理事	中 村 秀 一	理事山本元治
理事	塩 野 宏	理事(7)

(任期 令和元年6月28日~令和3年定時評議員会終結の時まで)

役	名		氏	名	
監	事	中	村	紀	明
監	事	山	本		等

(任期 令和元年6月28日~令和3年定時評議員会終結の時まで)

役 名	丑	-13	名							
評議員	上	田 ;	継	仁	評議員	榎	本	康	博	
評議員	神	谷	久	幸	評議員	山	本	恒	司	
評議員	肥	田	善	雄	評議員	赤	坂	修	代	
評議員	Щ	Д .	和	治	評議員	橘		愼	_	
評	議員(8	3)								

(任期 平成29年5月25日~令和3年定時評議員会終結の時まで)

#### 令和2年度事業報告

#### 1. 事業の目的

白梅学園乳児院蕾舎は、天理教の基本理念に基づいて長年積み上げてきた養育実践を踏まえ、事情があって親と生活を共にすることのできなくなった子どもたちの傷ついた心に寄り添い、温かい眼差しの下、親心に徹した養育体制で子どもたちの心身の発育に寄与していくことを目的とする。

そして、無限の可能性を秘めた子どもたちを大切に扱い、安心して生活できるよう、 また生きるよろこびを味わえるように養育を実践していく。

#### 2. 施設の現状

令和2年4月発出の「福井県家庭養育推進計画」に基づき、更なる養育実践を通じてアウトリーチできる素養を職員に求めるべく種々の園外研修に参加できるよう体制を整える前に新型コロナウイルスが全国的に感染拡大を広めて、研修会そのものが中止になったり延期になったりし、当初の計画が実行されないまま時間だけが経過してしまった。しかしながらこの1年間、子どもたちや職員にコロナウイルスの感染が見られず、乳児院における感染対策はまずは功を奏した1年でもあった。

乳児院に入ってきている子どもたちの殆どは貧困家庭であり、また基本的に生まれてからの不適切な養育は程度の差はあれ愛情不足が考えられ、子どもたちの心に大きな傷を残してしまっている。そうした子どもたちに対して乳児院の職員は、これまで通り基本理念に沿った形で、「一手一」の精神で子どもの養育に取り組んできた。

しかしながら、令和2年度は入所児童数が安定せず令和3年度はまた暫定定員9名となる。国が示す「社会的養育ビジョン」を乳児院が推進してくならば、暫定定員の設定は本来ありえなく県当局に対してもそれの補填に尽力するよう要請しているところである。またアウトリーチに関しては、敦賀市担当課および敦賀児童相談所との三者会議を通じて、特に乳児院の専門性を活かす「産前産後母子支援事業」や「育児相談事業」の展開を模索しているが、なかなか軌道に乗り切れない。この件に関しては、令和3年度の最重点課題として位置づけ、できるところから乳児院機能を地域社会に還元できる方法を考えていきたい。

#### 3. 令和2年度グループ構成と養育体制

グループ名	定員	対象児	養育者	その他
すなお	5 名	乳幼児	主 看護師・保育士	栄養士・調理員
まこと	5 名	幼 児	任 看護師・保育士	家庭相談員など

### ◇令和2年度入退所実績表(委託一時保護児童含める)

	入所	退所	退所後先	一時保護	一保解除	一保解除後先
男	1	1	家庭1	4	4	白梅乳児 1 家庭 3
女	1	3	白梅養護 1 家庭 2	3	3	白梅乳児 1 家庭 2
計	2	4	4 (再掲)	7	7	7 (再掲)

#### 【養育体制】

#### ○すなお(看護師2名・保育士等5名)

乳児は $0\sim6$  ヶ月くらいまでは観察室で養育にあたる。養育の中心は保育士だが、乳児は様々な疾患に罹りやすいため、看護師が嘱託医やかかりつけの医療機関等に連絡等を行い随時対応した。特にダウン症の子どもは昨年も入退院を繰り返したがこの間 (R2.9) も後部尿道狭窄のため内視鏡手術を行った。また $1\sim2$ 歳の子どもたちにも愛情豊かに育て生きる喜びを感じるよう養育した。

#### ○まこと(看護師1名・保育士等6名)

3~5歳の幼児を担当する。中でも幼稚園に通園した子どもが養護籍児童も含めて4人いた。保育者は、子どもたちの甘えたい気持ちを大事にし、自分の気持ちを上手く言葉で伝えられないもどかしさを感じて代弁することに注力した。また幼児版コモンセンスペアレンティング初級編(CSP)研修を取り入れ、養育者は子どもの発達に応じたかかわり方を学んでいる。特に、児童養護施設在籍児わけても発達遅滞を感じさせる幼児2名を育ちなおしの一環として同じ空間で養育した。

#### 4. 養育支援

幼児版コモンセンスペアレンティング初級編の専門性を活用して、子どもたちが 表出する言葉や姿から、本人の内包している心理的課題を把握するよう努めた。また、 それぞれの子どもの抱える諸問題をホーム会議やカンファレンスを通して、職員が 親心に徹した養育支援を行ってきた。

## (1)食生活

#### 献立について

基本的に手作りで加工品はなるべく使用しないことにしている。また旬の食材、季節に合った食材の使用を心掛けている。献立は野菜メニューが多いが、美味しく食べられる工夫をしながら無理なく食べられるようにしている。その他、手作りおやつや地元ならではの食材や食品を活用している。また一方で、食物アレルギーのある子どもにはその子どもに適合した献立を提供する。

#### ・食事量について

基本的に量は少なめに盛り、おかわりをさせている。盛られた分量を食べきることにより、食べられた・おかわりできたという喜びを持たせ、自信に繋げられるようにしている。また、苦手なものは自分から「減らして」と言える環境を醸成している。

#### 食育について

年齢に合わせた簡単な調理を子どもたちみんなで楽しんだり、外出時に食材の買い物をしたり、食事の準備や片付けのお手伝い等を通して、食べものの大切さや食べることの大切さ、食べることができる幸せを感じて伝えるようにしている。

#### (2)衣生活

- ・衣服費は措置費の中から年2回出費額を定めて購入している。購入にあたっては、子 どもの担当者が子どもと一緒に量販店へ行き、好みを取り入れて購入している。
- ・一般から寄付されてくる衣料品からも同様に選んで子どもに提供している。"物を大切にする""もったいない"という感謝の心を、小さな子どもの頭でも感じられる機会をもたせるようにしている。

#### (3)住生活

- ・年齢に応じて2つの小規模グループを設置している。
- ・就寝部屋も2つ用意し、浴室と沐浴室は1か所としている。
- ・親子訓練室を設け、親子関係を調整向上に資することを目指したが、なかなか親子関係再構築に向かったケースが出てこなかった。
- ・舎内外に明るい雰囲気のある環境を作っている。

#### (4)健康と安全

- ・軽易な怪我等は看護師がその職責に基づいて手当を行った。看護師は常に学園嘱託医 と連絡が取れる環境に努め、突発的な症状を発症したときには行きつけの医療機関 に対応をお願いした。嘱託医は毎月1回(基本的に第1木曜日の夕刻)子どもたちの 健康管理にあたる児童健診を行っている。
- ・インフルエンザ等の感染症、すなわち院内感染を引き起こす事案が発生した場合は、 看護師は嘱託医の指導のもと、隔離を要する子どもの区分けとその対応について職 員に要請した。
- ・子どもたちはもちろんのこと、職員にインフルエンザ予防のためのワクチン接種を実施した。
- ・子どもたちには発達年齢に応じて、予防接種法に従い適時ワクチン接種を行った。
- ・感染症予防のため、プレールーム(ほふく室)は床暖房を採用している。
- ・養育者は子どもの起床から就寝まで常に安全管理に努め、夜間は、乳児は15分チェック、2歳未満の幼児は60分チェックを実施して突然死対策等を行ってきた。

### (5)家族への支援(里親委託関係)

- ・家庭支援専門相談員をその専任として当たらせて、子どもの家庭への電話連絡や訪問 活動を児童相談所と連絡調整しながら進めてきた。
- ・育児不安や精神的問題を抱える母親に対しては、子どもと母親等との関係づくりのため、児童相談所と連絡を取りながら、慎重に面会や外出、外泊を進めてきた。
- ・家庭に帰れない子どもには、特定の里親にお願いしたり、1対1の関係を重視した養育担当者と過ごしたり、まさに家庭養育を意識した取組みを行ってきた。
- ・福井県ではフォスタリング機関が現在構想中なので、これまで通り児童相談所の里親 担当者と園の里親支援専門相談員が一切の里親に関する事業を担ってきた。里親に なりたい若しくは里親制度に関心を示す方に対して、里親研修を行ったり出前講座 を開いて里親啓発や里親研修を随時行ってきたりした。この1年間に乳児院から実 際里親委託する児童はいなかったが、適時委託に関してはマッチング等の機会を探 ってきた。

#### 5. 養育支援計画·記録

- ・子ども一人ひとりに年2回(5月と11月)、各担当者が中心となり、養育支援計画表を作成している。家族の状態や子どもに対する家族の思いを聞き取り、児童相談所から提示された個別援助指針に基づいて、一人ひとりの短期目標および中期目標を作成し、全体としての養育支援計画表を児童相談所に折り返し送っている。
- ・日々の記録やグループ討議、カンファレンスで意見交換したものは併せて、情報共有 ソフト「エフトス」に挙げながら活用している。

### 6. 権利擁護

- ・日本国憲法、日本国憲法、児童憲章、児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律、 全乳協倫理綱領、白梅学園職員倫理綱領等に掲げられている理念を遵守する、を基本 的な養育理念として子どもを尊重し、子どもの最善の利益のために尽力している。
- ・職員が子どもの権利を擁護する精神と実践のために、積極的に研修会とに参加させるように計画したが、コロナ感染症の拡大により十分な研修を受講できずに終わってしまった。受講できたものについては、カンファレンスの折に報告する時間を確保している。
- ・入所の際には、家庭支援専門相談員ならびに養育主任(UL)が、保護者に施設の役割と子どもの権利に関する事案について書面を使いながら説明している。

## 7. 関係機関との連携

・施設の役割や機能を達成するために、児童相談所との連携を適切に遂行し、定期的な情報共有や事例検討会議を通して、子どもの家族が抱える問題(課題)についての支援や問題解決への取り組みを行ってきた。

- ・各市町の要保護児童対策地域協議会(要対協)の施設代表者に施設長がなっており、 個別のケース検討会議いわゆる実務者会には家庭支援専門相談員等が参加して、地 域の要養護児童(家庭)の状況把握に努めている。
- ・幼稚園に通う子どもたちについては、児童養護施設から幼稚園に通う子どもたちと同様、幼稚園関係者および一般家庭より通園されている保護者の方々に、施設の社会的 役割を伝える活動をしている。

## 8. 職員の資質向上

- ・昨今施設には被虐待児童の増加によって、施設の運営の質が問われてきた。施設長は 職員の範となるべく、また施設長の監護権と親権の明確化や親権停止制度の改正な どを理解していることが求めるため、「社会的養護を担う児童福祉施設長研修会(隔 年受講義務:1泊2日)」を受講しなければならない。令和2年度はその受講年だっ たので施設長は本年2月に受講(リモート)した。
- ・職員の研修は、年度初めに研修計画(案)を発表し、施設長や養育主任(UL)を中心に援助技術の向上を目指す。勤務経験の浅い職員には新任研修等を、中堅職員にはそれに応じた研修を受講させる計画であったものの、コロナ感染拡大により研修が中止となったり延期されたりし思うような実績を上げることができなかった。できる限りリモート研修に参加させ資質向上に努めた。

## 9. その他

- ・施設長との個人面談(1回)行い、現況と今後の展望等について意見交換した。
- ・新任職員を歓迎するために、コロナ感染者数の少ない夏場に児童養護施設職員と一緒 に歓迎会(慰労会)を2班で開催した。

#### 10. 職員配置状況(年度初)

職種	人数	職種	人数
施設長	1 人	事務員	1 人
里親専門相談員	1 人	家庭専門相談員	1 人
個別対応職員	1 人	栄養士	1 人
主任 (UL)	1 人	看護師	3 人
保育士	9 人	指導員	2 人
調理員	1 人	パート	2 人
正職員 2	2人 パート 2	2人 合	計 24人

## 令和2年度事業報告

#### 1、事業の目的

白梅学園の基本理念に基づいた養育方針の実践を行い、家庭的養育の実現に向けた対応。 また、福井県社会的養育推進計画実施に伴い、本計画の基本理念である、①子どもの最善の 利益を優先、②家庭養育優先の原則を中心に、計画期間である令和2年から令和11年(10 年間)に向けた対応を、今後の児童福祉施設に必要とされる事業と捉え、嶺南地区の地域ニー ズ踏まえて優先的に推進を図る。

#### 2、施設の現状

施設の高機能化を図るため、コモンセンスペアレンティングの養育プログラムを導入し、児童記録の構築とスーパーバイザーの確立に力を注いだ。また、定期的な施設コンサルテーションの導入し、支援専門相談員やチームリーダーの人材育成を行い、直接処遇職員へのサポートの充実を図った。また、入所児童の理解を深める上から、「発達障害基礎講座」や福井大学子どものこころの発達研究センターにおける研究協力を積極的に行い、子ども達に必要な生活環境など、安心できる環境作りに取り組んだ。基本理念に沿って「一手一つ」に心を揃え、子どもの最善の利益に繋がる支援が行えるように、今後も引き続き、職員の人材育成並びに自己研鑽に取り組んで行きたい。

また、昨年はコロナ禍の対応に始まり、長時間子どもと向き合う現状や、直接処遇職員の移動により配置が不安定な状態になるなど、改めて施設の小規模化における対応の難しさが浮き彫りになった一年でもあった。また、ケアーニーズの高い子ども達の入所が増える中でも、措置変更することなく、継続した支援を繋げていくことが出来た。これは、直接処遇職員の不断の努力が功を奏した一年でもあった。

地域支援については、生活情報誌「Kirameki club」のオレンジリボン推進活動の一環として児童虐待防止取り組みコーナーに、8月から11月の4ヶ月間連載で白梅学園の紹介と地域社会に向けた支援活動について掲載された。また、敦賀市と敦賀児童相談所との三者協議、各市町への要保護児童対策地域協議会、地区民生委員総会への参加を通じて、積極的に施設の機能を紹介することにより、地域の方々へ施設の理解と協力が得られる機会となった。今後も継続して地域との繋がりを大切にして、公益性、平等性を持った社会福祉法人の施設として、地域社会に貢献できる施設の取り組みを進めて行きたい。

最後に、昨年は第三者評価を受信した。小舎になって初めて受審となり、様々な課題が見えてきたが、以下の3点を中心に一つ一つ積み重ねてより良い施設運営を図りたい。

- ①年度計画の目標達成に向けた行動が継続出来ているか、定期的な評価と改善を行う システムの構築を図る。
- ②記録、記載不足はすぐに訂正し改善する。
- ③専門委員会の充実を図り、全職員参画による事業運営を心掛ける。

## 1、月別入所児童の推移(※月初の人数)

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
本 体	3 1	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2
たんぽぽ	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5
日向	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合 計	4 3	4 2	4 2	4 1	4 1	4 1	4 1	4 3	4 3	4 3	4 3	4 3
定員	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4
充足率	97. 7	95. 4	95. 4	93. 2	93. 2	93. 2	93. 2	97. 7	97. 7	97. 7	97. 7	97. 7
一時保護	2 1					2	4 9					
短期支援								2	1		1	5

※一時保護、短期支援事業は延べ日数

## 2、職員配置状況

あ	らき	棟 事	務所
職	名	<b>.</b>	配置
施	設	長	1
事	務	員	1
家	庭支护	爰専	2
里	親支援	) 長専	1
心	理療法	も士	1
個	別対	応	1
栄	養	士	1
嘱	託	医	1
特別	引指導	拿員	1
学	習指導	算員	2

※個別対応は兼任

晴喜館第2	東	
職名	めばえ	ふたば
UL	-	L
保育士	3	2
指導員	0	1
調理員等		L
管理宿直	]	Ĺ

地域小規模

職名	たんぽほ	日向
UL		Ĺ
保育士	3	1
指導員		2
管理宿直		L

晴喜館第3棟								
職名	あおば	わかぎ						
UL		L						
保育士	3	2						
指導員	0	1						
調理員等	-							
管理宿直		L						

正規職員3 0名非常勤 嘱託医 1名特別指導員 1名学習指導員 2名管理宿直 3名合計 3 7名

# 3、会議等

会議名	参加対象者	年間回数
全体会議	養護全職員	12回
支援者会議	施設長・FSW・里専・心理・UL	23回
HL会議	施設長・FSW・里専・心理・UL・HL	12回
ホーム会議	ホーム職員 (必要に応じて支援職員)	随時
専門委員会	アドバイザー:1名 委員:5~6名	随時
中高生会議	指導員 中高生児童	6回

## 4、心理療法・家族支援・里親支援 実施状況

① 心理療法 毎リ週 or 隔週 or 月1回 50分

内容(カウンセング・プレセラピー・SST(アンガーコントロール))

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	Δ∍L
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計
対象児童	27			18	17	19	18	20	20	21	21	21	
延べ回数	40			36	26	38	41	42	31	37	34	29	354

※5,6月はコロナの為行わず。

- ② 家族支援 ・対象家族 4家族 研修開催数 16回 ・家庭引き取り 3組5名
- ③ 里親支援 ・里親サロン 9回 ・福里サークル 8回 ・嶺南サロン4
  - ・星の子のつどい 1回 ・里親リクルート 延べ8日間
  - ・里親研修 7組延べ13日 ・その他電話相談等

#### 5、主な行事

	<i>4</i> − ≠ <i>β</i>		参加人	数
日付 	行事名 	開催場所	職員	児童
7/5.6	生活・自立支援キャンプ	国立若狭湾少年自然の家	6	1 7
8/11	白梅学園 夏祭り	施設内		全員
9/13	福井大8歳以上検査(計4回)	福井大学研究所	4	19
9/29	発達障害基礎講座①	施設内	2 4	
10/2 • 6	第三者評価受審(2日間)	施設内		
10/4	芋掘り招待行事(榎本康博氏より)	若狭町生倉	3	9
10/17	九頭竜湖カヤック体験→雨天中止	福井市内	2	10
	福井市内観光 (中高生対象)		4	10
11/3	ふくい子ども食堂	松原海岸 他	2	5
	「地引網体験とBBQ」招待行事		۷	J
11/8	福井大8歳以下検査(計2回)	白梅学園		
11/29	中高生の自立に向けた体験活動	日向ホーム	3	1 5
12/2	発達障害基礎講座②	施設内	2 1	
12/6	卒園生ディナー招待	王様の食卓(越前市)	2	3
2/13	星の子のつどい	越前市	2	4

※コロナ禍のため、全体行事は避け、ホーム毎の行事を中心に行った。

## 6,特記事項

- ・施設長との個人懇談を年2回行い、現況や改善点について意見交換を行った。
- ・昨年度より、たんぽぽホームの移転を検討していたところ、敦賀市空き家バンクに登録があった清水町2丁目2-4にて一軒家の借家があり、利用する事となる。今回の移転に伴い、気比中学と敦賀南小学校校区となり、女子6名で4/1より再スタートとなる。

		令和2年度 専門委員会活動報告
食育生活	活動	夏祭り・天理教ゴミ拾い・地域ゴミ拾い・料理講習会・七五三お祝い会 ・たくあん漬け など
活	所感	出来る範囲で委員会として活動を行えた。他委員会との合同行事の際、連携が上手くいかない部分があった。来年度は、委員会同士での連携を取りやすくなるよう、委員長会議を行った方が良いかもしれない。行事の際は、事前に計画と立て、スムーズに実行にうつせるようにしたい。
子どもサポ	活動	マネークリップ研修会(2回)・夏祭り(企画)・アルバムチェック・七五三お祝い会・お別れ会・卒園生のハンドブック など
ー プポート ート	所感	コロナ禍でも中、夏祭りや七五三を行えたことは良かった。マネークリップ研修を職員は出来たが、子ども達には出来なかった。来年は、子ども達への表彰や誕生日メッセージなど増やしていきたい。
職員サポ	活動	新人歓迎会 $(3日間)$ ・ほめほめ隊・健康通信 $(第1、2号)$ ・リラックスウォ $-$ キング
ポ   ト 	所感	コロナ禍で職員旅行が出来なかったのは残念。密にならない散歩など、リフレッシュ の一案として実施したい。コミュニケーション講座を来年度は実施したい。 来年も職員の心のサポート、色々な形で寄り添って行けたらと考えています。
安心安	活動	避難訓練・消火訓練・防犯訓練・火災報知器取扱説明・110番通報機器取扱説明・心肺蘇生法・ヒヤリハット解決法見直し・熱中症、感染症マニュアル・吐物処理方法講習会・非常食メニュー・レディースガードリーダー研修 他
全	所感	心肺蘇生法や吐物処理は実際に新人の職員にわかる形で行うことが出来た。8月の原子力災害の避難訓練は連携が上手くとれなかったことでスムーズには行えなかった。 来年にはマニュアルを作り連携をしっかりとっていきたい。
地域サ	活動	広報誌の作成・民生委員会への参加・周辺の清掃活動など
ポート	所感	民生委員の集まりに参加し、広報誌を届けるなど、繋がりを作ることが出来た。来年 度も続けたい。
データ	活動	パソコン講習会・ブログの投稿方法・iPad 設定
タ管理	所感	しっかりと計画を練って実行できた。ブログの書き方の確認や PC 講習会が出来た。 養護では、ブログを毎月挙げられていない所があった。
総評	員会 義の 今後	のコロナ禍で、当初の計画通りに行事を行うことが出来なかったと思いますが、各委で知恵を絞り、合同開催など協力し合って出来る限りのこと企画運営できたことは意ある一年であったと思います。ありがとうございました。 も、施設の基本理念に基づく事業運営を行う上から、また、社会福祉法人として地域に繋がる一助となるよう、全職員参画のもと、ご協力お願い致します。

## 児童家庭支援センター白梅 令和2年度事業報告(案)

#### 1 事業の内容

- ①児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じる。
- ②市町村の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行う。
- ③児童相談所において、施設入所までは要しないが要保護性がある児童、施設を退所後間もない児童等、継続的な指導委託措置が必要であると判断された児童及びその家庭について、 指導措置を受託して指導を行う。
- ④里親及びファミリーホームからの相談に応ずる等、必要な支援を行う。
- ⑤児童相談所、市町村、里親、児童福祉施設、要保護児童対策地域協議会、民生委員、学校 等との連絡調整を行う。

### 2. 令和 2 年度運営方針

- ①地域社会から信頼を得られるような子育てに関する相談活動を展開する。
- ②敦賀児童相談所と連携して嶺南西部地区の家庭児童問題に対応する。
- ③乳幼児等の健診等に同席し、地域の親子関係状況等を見極める。
- ④児童相談所から指導委託を受けた子どもの家庭を見守るため、家庭訪問や児家センターへ
- の通所を繰り返しながら家庭再統合を円滑に行えるよう支援する。

<令和2年度の目標 3ケース>

- ⑤相談員(社会福祉士1名)および心理療法士(1名)の確保を目指す。
- ⑥地域活動のための公用車1台を購入する。

#### 3. 令和2年度事業実績

#### 1) 相談に応じる事業

児童の保護者や関係機関から相談を受けた。保護者から相談を受けた場合は、関係機関に報告 し、連携して支援を行った。また、必要に応じて、児童に対して、心理担当職員が心理療法等を 実施した。

昨年度より、相談延べ件数は3割弱減少した。電話相談が約4割減少し、訪問相談も減少した。 訪問相談が減少した要因として、新型コロナウイルス感染症の流行が考えられる。一方、心理療 法等は3割増加した。心理担当職員が1名増え、兄弟ケースの対応が可能になったことが大きい。

相談内容は、保護者自身の疾病や成育歴から、子どもへの関りが上手にできない等の養護相談が全体の6割強を占めた。次いで、保育園や学校などの集団生活になじめない等の性格行動の相談が全体の3割弱を占めた。相談延べ件数は、昨年度より減ったが、虐待相談は増加した。養護相談に占める虐待相談の件数は、昨年度より1割増えた。

詳細は、以下のとおりであった。

#### (1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3 月	合 計
新規受理人数	39	6	9	5	2	2	3	2	1	3	4	4	80
継続相談人数	0	32	36	38	39	45	44	47	41	39	39	48	448
月別相談実人数	39	38	45	43	41	47	47	49	42	42	43	52	528

#### (2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3 月	合 計
電話相談	126	76	44	83	28	88	78	65	52	42	70	84	836
来所相談	66	51	40	43	28	37	30	29	27	33	23	30	437
訪問相談	10	29	25	27	17	29	21	23	31	33	35	39	319
心理療法等	13	16	15	13	15	17	13	13	16	17	20	20	188
メール相談	5	3	1	4	0	1	6	2	1	0	2	3	28
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	3	8
月別延件数	220	175	125	170	88	172	148	135	127	125	152	179	1,816

#### (3) 相談・指導内容の種別延件数

養 護						育	成					
	虐待 保健 (再)		障害	非行	性格 行動	不登校	適性	しつけ	いじめ	DV	その他	合 計
1,194	320	35	0	0	544	29	14	0	0	0	0	1,816

## (4) 相談経路別受付延件数

Ì	県・市町村	<b>寸</b>	児童福	祉施設	保健所				児童 本人	18 歳 以上 本人	里親里子		
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他	及び 医療 機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人				その他	合 計
134	241	92	21	57	30	127	842	18	245	0	0	9	1,186

#### 2) 児童相談所からの委託による指導

3人指導委託があった。3人とも虐待ケースであった。 一時保護された後、家庭引き取りとなったケースである。1人は、当センターで妊娠中から関わっていた。その後、一時保護になり、一時保護解除に伴って指導委託を受けた。 3人は、在宅での生活が難しくなり、一時保護の後、施設入所となった。

指導委託の基準、委託ケースの進め方などについて、『福井県児童家庭支援センター指導委託実施要綱』が3月1日から施行された。今後は、要綱に沿っての支援を行っていくことになった。

#### 3) 市町村の求めに応ずる事業

派遣依頼を受け、各事業運営に協力をした。

## (1) 1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査(小浜市)

親子関係や家庭環境等に関する相談・指導。カンファレンスに参加。 当センターで支援を 行っている家庭の情報提供。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防を行いながらの実施だった。参加者が、1ヵ所に

集まらないように、いくつかの部屋を使用して実施された。相談員は、参加者の誘導を行いながら、親子の様子観察、親御さんの話を聞いた。

### 1歳6か月児健康診査

出席日:4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、11/19、12/17 R3.1/21、2/18、3/18 (12 回参加)

#### 3 歳児健康診查

出席日: 4/23、5/28、6/25、7/30、8/27、9/24、10/22、11/28、12/24 R3.1/28、2/25、3/25 (12 回参加)

#### (2) 5 歳児健康相談(小浜市)

親子関係の観察、アドバイス。カンファレンスに参加。 当センターで支援を行っている家庭の情報提供。 当事業から、2人が当センターでの継続ケースとなった。また、令和元年度に参加した1人が、昨年度から当センターで支援を行うようになった。

出席日:5/12、6/11、7/7、9/10、10/8、11/12、12/10、R3.1/14、2/9、3/11

(10 回参加)

#### (3) あそびの教室 ひだまり(小浜市)

心身の発達に問題のある子どもを早期に把握し、適切な指導を行い健全な発達を促すとともに、保護者が子どもにあった関わりができるよう支援する事業である。

子どもの観察、保護者への育児のアドバイス、カンファレンスに参加。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、5月は事業が中止となった。

出席日:4/10、6/12、7/10、8/7、9/4、10/9、11/13、12/11、R3.1/15、2/19、3/12

(11 回参加)

#### (4) ペアレント・プログラム (小浜市)

ペアワークのフォロー、アドバイス、カンファレンスに参加。新型コロナウイルス感染症予防のため、スタッフはフェイスシールドを付け、参加者のペアワークではアクリル板を設置して行った。8人の母親が参加。小浜市子育て支援センター、児童発達支援センターを利用している母親が参加した。3月には、フォローアップ教室を実施。

出席日:10/1、10/15、10/29、11/19、12/3、12/17、3/10 (7回参加)

#### 4) 関係機関等との連携

(1) 育児不安解消サポート事業"かるがものお部屋"(若狭健康福祉センター)

子どもの保育、子育てについてのサポート、カンファレンスに参加。 当センターで支援を 行っている家庭の情報提供。

出席日:5/26、7/28、8/25、9/23、10/27、11/24、12/22、R3.1/26、3/23 (9回参加)

(2)小浜市要保護児童対策地域協議会 代表者会議(2回)·実務者会議(2回)·個別ケース会議(4回) 出席日:4/27、5/26、7/3、7/10、7/30、7/31、R3.3/11 (8回参加) (3) 高浜町要保護児童対策地域協議会 実務者会議 (2回)・個別ケース会議 (1回)

出席日:6/18、10/9、11/19 (3回参加)

(4) 若狭町要保護児童対策地域協議会 代表者会議(1回)·実務者会議(1回)

出席日:7/22 (2回参加)

#### (5) 関係機関との話し合い・会議

要保護児童対策地域協議会以外で関係機関と今後の支援方法、役割分担などの話し合いや会議を行った。

関係機関:医療機関、学校、教育事務所、児童発達支援センター、保健所、

児童相談所、健康管理センター、要保護児童対策地域協議会担当課

実施日:6/23、10/16、10/20、11/10、12/2、R3.2/19、3/9 (7回参加)

## 5) 里親等への支援

10月18日(日)、2月21日(日)に福井県里親会「嶺南サロン」を当センタープレイルームで開催(場所提供)。

10月は、3人の里親、委託されている里子4人、里親支援専門相談員2名、児童相談所の里親推進員が参加した。飲み物やお菓子を食べながら話し合いを行った。里子たちはプレイルームで遊んで過ごした。

2月は、1人の里親、委託されている里子3人、里親支援専門相談員1名が参加。新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食はせずに過ごした。

## 6) 児童相談所業務の協力

児童相談所が行う児童家庭相談市町後方支援事業に協力した。児童相談所が若狭地域の保護者と面談する時、当センターを面談場所として提供。また、児童相談所職員が立会いのもと、施設入所児と保護者の面会を当センターのプレイルームで実施していた。

協力日: 4/3、4/23、4/24、5/12、5/22、6/25、7/8、7/9、7/16、7/17、7/30(3 回)、8/5、8/21(2 回)、9/17、10/16、10/23、11/9、11/24、12/11、12/23、R3.1/13、2/3、2/15、2/22、3/22(2 回) (29 回協力)

#### 7) 地域支援事業 (プレイルーム開放)

日曜日・祝日の9時から17時まで地域の親子、子ども(18歳まで)に開放した。

母と子どもの利用だけでなく、夫婦で子どもを連れて利用したり、父だけが子どもを連れて 利用したりする家族もいた。また、昼食を食べて、お昼寝前に帰宅する利用もあった。

新型コロナウイルスの感染防止のため、開放を中止、10月からは食べ物(お菓子を含む)を禁止した。

開放回数:25回 利用した子どもの延人数:84人(保護者:62人)

#### 8) 職員研修等

新型コロナウイルス感染症の影響で、研修が中止、オンライン研修に変更になった。

- ・ひきこもり支援関係機関職員研修会(7/31、9/25 オンライン研修)
- ・全国児童家庭支援センター協議会 地域支援実践研修会(10/7 オンライン研修)
- ・精神保健福祉協会 講演会(11/9 オンライン研修)
- ・第3回 FLEC フォーラム~社会的養護の健全な発展のために~(1/10~11 オンライン研修)
- ・親の精神疾患と子どもの育ち(3/17 オンライン研修)

## 9) その他:子どもの食緊急支援プロジェクトに参加

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、食事に困っている子どもと家庭に食材や食事、おやつ等を届けるボランティア企画が"一般財団法人100万人のクラシックライブ"で立ち上がった。この企画の第1弾と第3弾に当センターも参加した。

ひとり親家庭や要保護児童家庭を対象に、家庭訪問や面談で来所した際、食品を届けた。届けた食品は、レトルトご飯、パスタ、米、カップラーメン、レトルトカレー、レトルト丼の素、インスタントみそ汁、パスタソース、ふりかけ、お菓子などである。

第1弾では20万円の寄付を頂きた。6月から9月に、12世帯子ども36人に、1世帯当たり2回から4回、食品を届けた。 第3弾では10万円の寄付を頂き、13世帯子供35人に食品を届けた。 食品を届けた家庭から喜びやお礼の言葉をもらった。食品を届けることで、食べ物がある安心感を家庭に届けられたように感じた。